

令和6年度 事業報告総括の概要

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

岡崎商工会議所

総 括 的 概 要

令和6年度 基本方針『会員企業を全力サポート』 ～声を聴き、共に動く 商工会議所～



第260回通常議員総会 (5/28 @本所)

企業を取り巻く環境は、深刻化する人手不足に加え、原材料費・エネルギー価格の高騰や物価上昇、そして防衛的な賃上げ対策を余儀なくされる等、たいへん厳しい状況に直面している。

本所では“会員のため、地域のための商工会議所”として、会員のニーズを的確に把握し、会員企業の課題解決に向け、各種事業に取り組んだ。

以下、実施した主要事業の概要を報告する。

○自己変革による「稼ぐ力」の向上

日本商工会議所が推進する企業の「稼ぐ力」の向上を目指した取組みとして、価格交渉の実現に向けた講座をはじめ、ブランディングセミナー、脱炭素・省エネ講座、DX推進講座を開催し、これら事業を通じて、会員への「稼ぐ力」の気運醸成を図った。



価格交渉講習会 (8/7 @本所)

- ・「価格交渉の実現に向けた講座」（3つのフェーズに分けて実施）
- ・「ブランディングセミナー」
- ・「脱炭素・省エネ講座」（全6回）
- ・「DX推進講座（デジタル技術活用と情報セキュリティ）」

11講座
延べ340名参加

○人手不足への対応

多様な人材確保・育成・定着支援として「就職情報室」事業を中心に、地元企業の魅力発信、学生・求職者との出会いの機会創出に加え、企業の採用力向上支援を行った。

また、地元職業高校に対しての優良生徒表彰制度やものづくり基盤人材育成事業等を通じて、若手人材の活躍推進・育成に寄与した。



地元就職フェア

- ・「就職情報室」
- ・「就職フェア」（全6回）
- ・「採用力向上セミナー」
- ・「優良生徒表彰制度」
- ・「ものづくり基盤人材育成事業」

168社登録
企業数延べ523社 来場者延べ1,001名
延べ338名参加
2校 24名表彰
受入企業22社 参加生徒49名

○経営改善に向けた伴走型支援

個別の経営課題の解決に向け、専門指導員ならびに本所経営支援員による窓口相談（経営革新・経営・金融・税務・労務等）や金融あっせん、労働保険事務受託、記帳指導等を行い、企業における事業継続と経営改善支援に努めた。

また、全職員による巡回訪問を実施するとともに、企業の販路開拓や業務効率化等に要する経費の一部を助成する補助金等の利用促進を行った。

令和6年度 中小企業相談所事業実績報告

事業	内 容		実績
窓口相談	経営支援員等による窓口相談（経営革新・経営・金融・税務・労務等）対応		延べ 2,441 件
	税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、弁護士、弁理士等、各分野における専門家による無料相談		243 回 延べ 945 件
	労働保険年度更新手続等専門家（相談員）による指導		15 日間 延べ 243 件
巡回訪問 （全職員で取組む 会員巡回訪問含）	経営支援員等が企業を訪問し、中小企業施策等を周知ならびに相談対応		延べ 1,641 件 （実事業所は 1,265 （廃業等除く））
金融あっせん	マル経融資（無担保・無保証人・低利、2000 万円限度）	40 件	24,625 万円
	その他（マル普、新創業融資）	17 件	7,860 万円
労働保険事務受託	社長・役員、事業主や家族従事者の労災保険への特別加入対応		受託企業 554 社
記帳指導	小規模事業者に記帳から決算・申告まで一貫して継続的に指導		指導企業 192 社
小規模企業共済	小規模企業事業主のための「退職金制度」。安心・確実な国の共済制度。掛金・共済金に税制上のメリット満載		加入累計 1,172 件
中小企業倒産防止共済	取引先企業の倒産による連鎖倒産を防止するため、共済金（無担保・無保証人・無利子）を貸付		加入累計 261 件
セミナー開催 （本所主催分）	《主なテーマ》 簿記会計、年末調整事務、税制改正、インボイス制度、改正電子帳簿保存法、中堅社員、デジタル技術活用と情報セキュリティ対策基礎		25 講座 延べ 862 名参加
おかざき創業塾	創業に関する夢・アイデア・プラン実現に向け「創業への心構え」や「創業に必要な基礎知識」等、創業計画の作成を通して事業化の可能性を知る機会とする講座		2 講座 延 99 名参加
事業承継相談	事業承継に関する専門家の紹介・斡旋・事業承継の準備や事業承継後のフォロー等の相談対応		相談件数 延べ 62 件
持続化補助金	小規模事業者が、商工会議所の支援を受けながら実施する販路開拓等の事業に要する費用を補助		申請企業 20 社 採択企業 9 社
事業再構築補助金	ポストコロナ時代の経済環境の変化に対応するために、中小企業等の新分野展開、業態転換、業種転換等の思い切った「事業再構築」の挑戦を支援する補助金		申請企業 4 社 採択企業 1 社 （第 13 回未発表）

○職員による事業所巡回訪問

市内企業の実情を知るため、本所データベースにある 10,596 事業所のうち、コロナ禍を含んで 6 年以上未接触の 4,732 事業所をリストアップし、年間を通じて全職員による巡回訪問を行った。

実際に巡回訪問できた数は 2,016 事業所で達成率は 42.6%（廃業・転居・所在不明・休業や電話不通が 751 事業所も判明）となった。

また、9 月～11 月までの 3 か月間は、本所への入会を促すことを目的に「会員入会キャンペーン」を実施し、期間中 47 事業所が入会した。

年度末会員数は 4,165 事業所（令和 6 年度入会 152 事業所、退会 149 事業所）で、純増 3 事業所となった。

皆様のお声をお聞かせください！

岡崎商工会議所 “ご用聞き運動” 始めます！



岡崎商工会議所では、市内で事業を営む皆様の現状をお聞きし、今後の経営支援の参考とさせていただくため、各職員が地区ごとに担当となって皆様の事業所にお伺いします。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、職員がお伺いした際はぜひ皆様の率直なお声をお聞かせください！

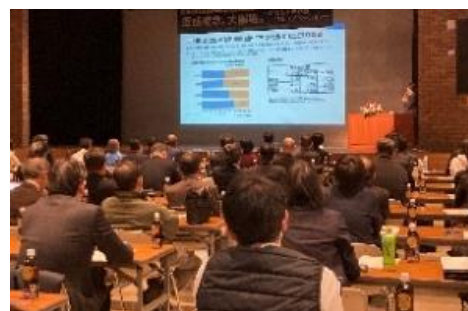
巡回訪問	
リストアップ	4,732 事業所
巡回訪問数	2,016 事業所
達成率	42.6%

○企業間の交流による新たな価値創造

新たなビジネスの創出と共創イノベーションの実現をするために、「第 7 回ものづくり岡崎フォーラム」や「ものづくり講演会」を開催した。

また、岡崎市と連携し、愛知県が推進する「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM 2024」※¹への参画や愛知県が名古屋市鶴舞にオープンした「STATION Ai ツアー」を企画する等、スタートアップ、共創イノベーション関連の取組みに注力した。

その他、新入会員、女性社員、若手社員、SNS 運用担当者等、業種、階層の枠を超えた情報交換の場を設け、企業間の交流による新たな価値創造の機会を提供した。



ものづくり岡崎フォーラム
(12/13 @本所)

※¹愛知県が推進する「あいちスタートアップ・エコシステムの形成」の一環の取組みで、地域課題解決に向けてスタートアップとともに主体的に取り組む事業共創プログラムのこと。

・「第 7 回ものづくり岡崎フォーラム」 ・「ものづくり講演会」 ・「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM 2024」 ・「STATION Ai ツアー」 ・「新入社員（つながり・ひろがり）交流会」 ・「女性社員交流会」 ・「若手社員交流会」 ・「SNS 運用担当者交流会」	8 企画 延べ 394 名参加
--	--------------------

○ビジネスマッチングによる販路開拓

ビジネスの成長を促すために、高速道路における S A・P Aテナント企業との個別商談会をはじめ、県下 22 商工会議所ならびに浜松・岐阜・四日市商工会議所の会員を対象とした事前調整型商談会「アライアンス・パートナー発掘市 2024」、「地域商談会（三河・知多会場）」、安城商工会議所との連携による製造業ビジネスマッチング交流会等、様々な企画イベントを開催し会員の販路開拓の一助を担った。



S A・P Aテナント企業との個別商談会
(10/11 @本所)

・「S A・P Aテナント企業との個別商談会」 ・「アライアンス・パートナー発掘市 2024」 ・「地域商談会（三河・知多会場）」 ・「安城商工会議所との連携による製造業ビジネスマッチング交流会」	4 事業 延べ 6 3 社参加
---	----------------------------------

○部会ならびに青年部・女性部活動

業種別に 8 つに分かれている部会では、最新の情報が得られる講演会をはじめ、業界の課題解決に向けた勉強会、視察会等、年間延べ 72 回の例会事業等を開催した。

部会の参加者には、収集した情報を企業経営に活かすとともに、会員相互の交流や情報交換により、新たなビジネスの機会創出につなげた。

また、「部会長会議」を開催し、各部会の取組み状況報告や次年度に向けての部会活動のあり方等について協議した。



全部会合同新年大交流会
(1/9 @岡崎市竜美丘会館)



部会長会議 (2/13 @本所)

8 部会（商業、食品・サービス、情報文化、工業、建設、機械金属、交通、理財）の例会事業	
・講演会、勉強会、セミナー、会議（延べ 4 6 回） ・視察会、見学会（延べ 1 6 回） ・交流会（延べ 1 0 回）	延べ 7 2 回 延べ 1, 6 7 5 名参加

青年部（会員：271 名）では、令和 6 年度「志、高く ～次代を拓く リーダーへの歩み」をスローガンに掲げ、青年部の根幹である委員会活動を中心に活発な意見を交わし、各例会においては、お互いの理解を深めながら事業を推進して、会全体の意識の醸成を図った。

また、女性部（会員：67 名）では、令和 6 年度「出会いを楽しみ つながる その先へ！」をテーマに、会員全員が 3 委員会に所属し、会員一人ひとりの積極的な例会等の参加により、女性部としての絆と結束力を深めた（会員数は、令和 7 年 3 月 31 日現在）。

・青年部 例会事業（1 2 回） ・女性部 例会事業（1 0 回）	延べ 1, 6 9 1 名参加 延べ 5 5 6 名参加
--	---

○要望・提言活動

愛知県商工会議所連合会（県下 22 商工会議所で構成）を通じ、本所の意見を含め「中小・小規模企業支援の強化」、「交通インフラの整備」、「魅力的な地域づくりと観光・誘客の推進」、「イノベーションや新産業の創出」、「強靱化・減災対策の拡充・強化と防犯・安全」等の項目について、愛知県に要望書として提出した。

また、西三河交流圏推進協議会（西三河 6 商工会議所で構成）では、「（仮称）岡崎阿知和スマートインターチェンジ設置に向けた支援」や「名古屋三河道路計画の早期具体化」、「県道 48 号岡崎刈谷線の市内 4 車線化の整備」等に関する要望を行った。



西三河の幹線道路に関連する要望
(9/4 @中部地方整備局)



西三河の幹線道路に関連する
要望を発言する大林会頭

○福利厚生制度（共済・保険）の普及・促進と健康経営の推進

会員企業の経営者と従業員の福祉対策事業として共済制度を運営するとともに、「健康経営キャンペーン」（年 2 回）や会員向けに「共済フォーラム」を開催する等、企業の福利厚生の充実やイメージアップにつながる健康経営の推進を行った。



共済制度	
団体保険（生命共済制度） 死亡、高度障害、入院保障、見舞金、祝金、助成金給付	941事業所 3,486名 6,556口
特定退職金共済制度 従業員の退職金を準備	277事業所 1,814名 17,055口

健康経営キャンペーン	
期 間	前期：5月1日（水）～ 6月28日（金） 後期：10月1日（火）～11月29日（金）
内 容	アクサ生命推進員等との帯同による会員訪問を延べ94件行い、健康経営を中心とした福祉制度の推進を行った。

○会館サービス事業

本所には、各種研修や会議等、多目的に利用できる部屋が8室あり、年間で延べ2,836件の利用があった。

また、来館者への快適な環境を整えるため、秋に空調設備工事を実施した。



貸出単位利用件数	
① 大ホール	延べ319件
② 中ホール	延べ302件
③ 401会議室	延べ522件
④ 特別会議室	延べ 65件
⑤ 特別研修室	延べ403件
⑥ 503会議室	延べ549件
⑦ 505会議室	延べ250件
⑧ 506会議室	延べ426件
合 計	延べ2,836件



空調設備工事（10/28 @本所）

○組織・財政基盤の強化

組織運営にあたっては、議員総会・常議員会において会員情報を報告するとともに、日々変化する企業経営の取組み環境等について協議した。

広報活動では、会報、SNS、ホームページ、メルマガ等のツール等を活用し会員企業の情報発信を行った。

また、能登半島地震の復旧・復興支援では、本所職員2名を派遣（4月と11月）したほか、所内の業務効率化等を図るべく内容について「業務生産性向上プロジェクト」を立ち上げ、企画・実行した。

なお、10月には3年に一度開催する先覚者ならびに物故功労者の功績を称える「慰霊祭」を催した。



第263回通常議員総会（3/25 @本所）



慰霊祭（10/3 @昌光律寺）

広報（SNS）

知っておきたい“旬”な経営情報 がてんこ盛り！

Facebook



LINE



YouTube



メルマガ



ブログ



登録無料、
今すぐ
チェック

